



笑うカラースの系譜

後編

有川しりあ

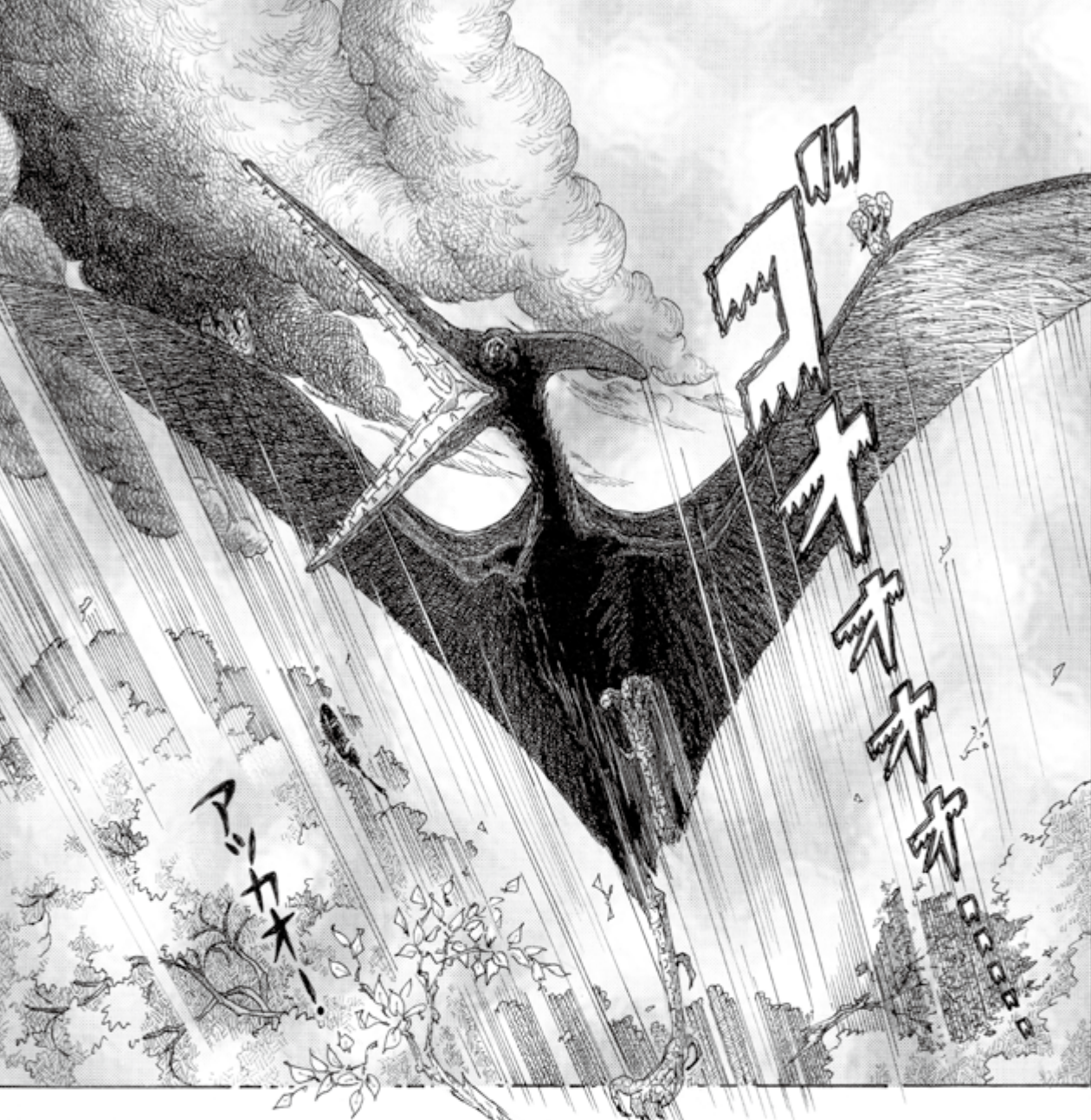


★ 操作方法 ★

ページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。



...よっ君...
ではないな...

笑うカラスの楽譜

後編

有川しりあ



だが… この…
大量にちぎれ落ちる
木の枝は なんじゃ?!

あれ…?!

風がやんだ

わしは…

まぼろしを
見たのか!?

一瞬だった!



そんな
ことより…

ああ…!
いよいよ
喉が
カラッカラ
じゃ…

お…
あれは…あれは
井戸じゃあ
ないのか?!



カラスがおる
ばかりじゃあ
ないか

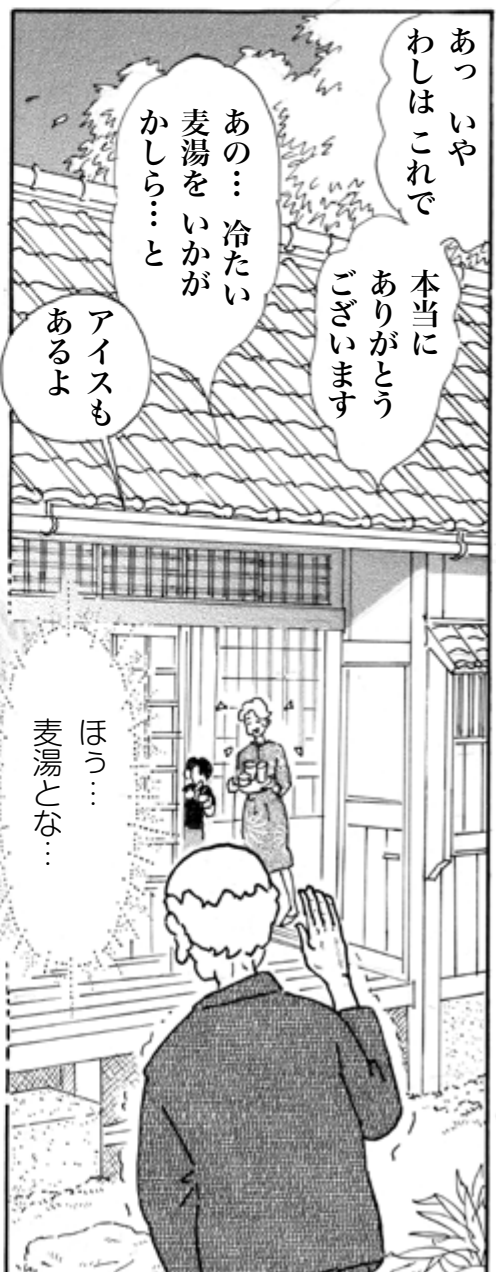
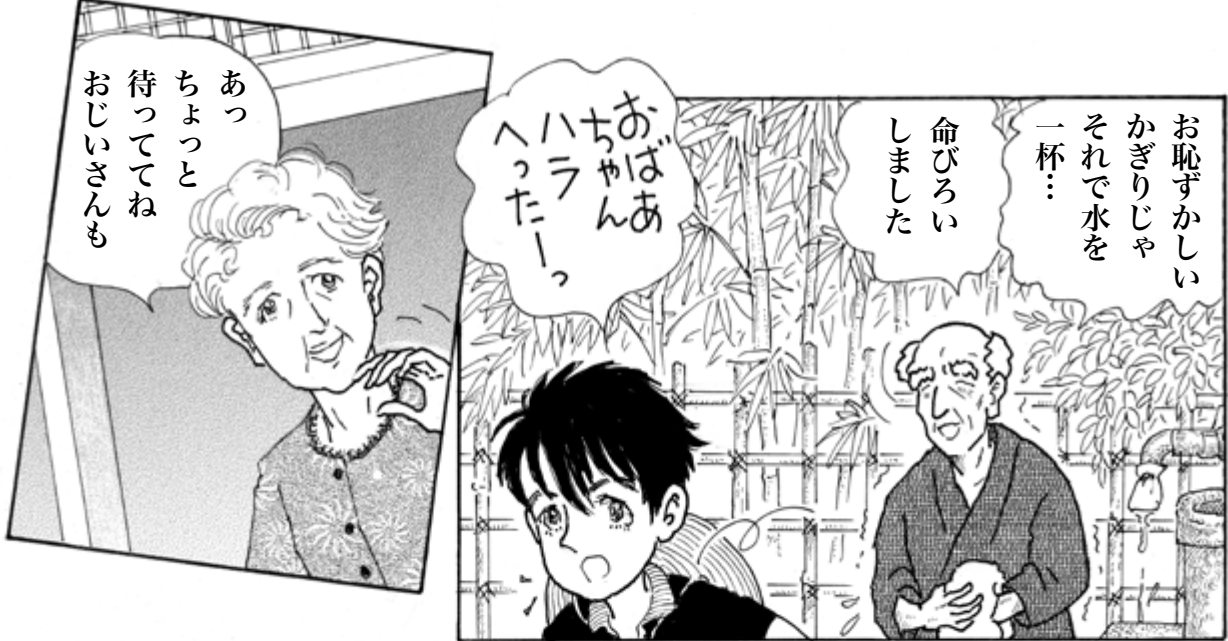


やれ…
ありがたい!
水がでるぞ
…!!



あっ
おじいさん
その水飲んじゃ
ダメだよ

ほっ…!
!!





わしは毛も歯も
立ち去りがた〜

きゅうりにかごつけて
も少しだけ お邪魔させて
いただくことにした

この少年とももって
話したかったしな



プテラノドン
にしては歯が
あるし毛もあって
変なんだけど

本当は毛も歯も
ないのかね…

ありがとう



またーっ
こえーって
歌。

お味噌
お付けに
なつて

ふふ…
コンドルは
飛んでゆく…を
つい口ずさんで
しまいますの
アシを見ると



や…
かたじけない

ああ…と
そのメロディは
よく聴きましたな
だいぶん前だが…

あの頃は
良い曲がたくさん
ありましたね

歳のせいかしら…



そう
ですな

おばあちゃん
ももクロ
とかも
聴いてん
じゃん

あゝ…そうね

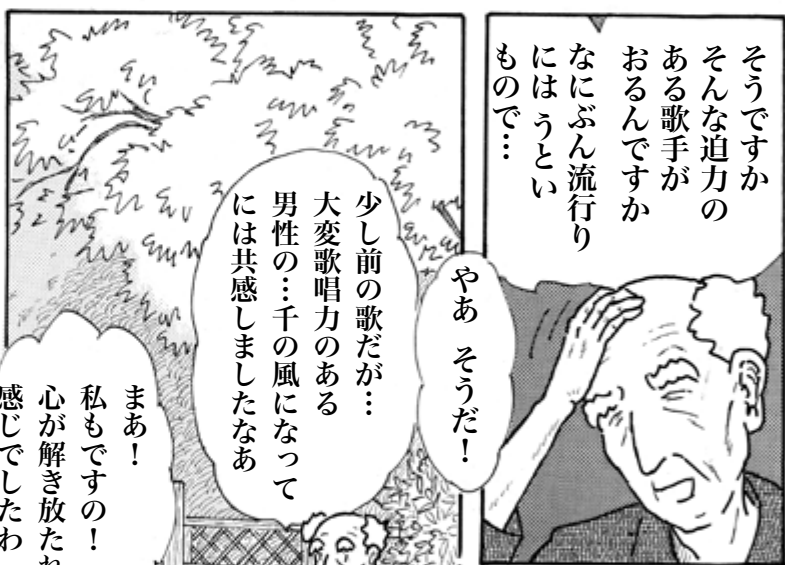


ももクロ？



ええ
最近の女の子の
グループはとても
元気ですわ
ももクロには
笠置シズ子以来の
エネルギーを
感じますの

は…はあ
笠置シズ子
ですか
久方ぶりに
ききましたな



そうですか
そんな迫力の
ある歌手が
おるんですか
なにぶん流行り
にはうとい
もので…

やあ そうだ！

少し前の歌だが…
大変歌唱力のある
男性の…千の風になって
には共感しましたなあ

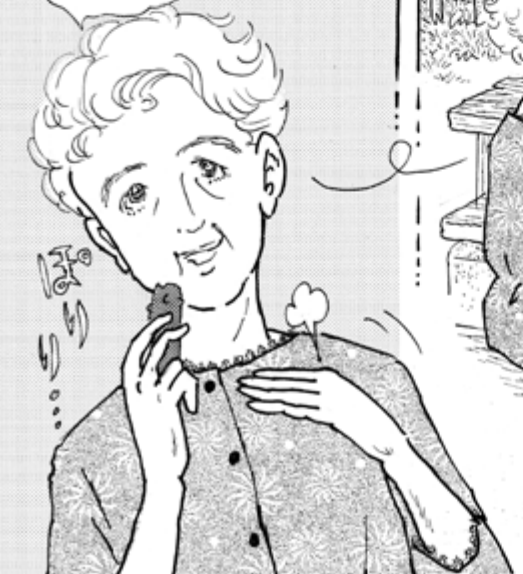
まあ！
私もですの！
心が解き放たれた
感じてしたわ



つまんね！
話してん
じゃね

解き放たれるか…
やあ…にもそんな風が
吹いておるなあ…
先ほどの おののきが
鎮まってる…

あの曲を聴いて
私とごめの決心を
しましたのよ





ぼく 近道
教えたげる
自転車の
ところまで

はい 近い
うちに

バーベキュー
やりましょう
待ってますわ



死んだら
お骨をまいて
もらうことに
しましたの
風のとたる
ブナの森に:

まかし
とき

ほう!
わしもそのような
手筈なんですよ
壺に閉じ込められたくは
ないですからなあ



おやこちらに
廻ると森に
つながってる
んだな

うん 緑道に
なってるんだ

緑道とな...!
この少年はむずかしい
言葉を使つなあ
あのこともきいてみるかの



ごめんごめん
ごはんだねー

みや

おっ そうかね
ありがたい



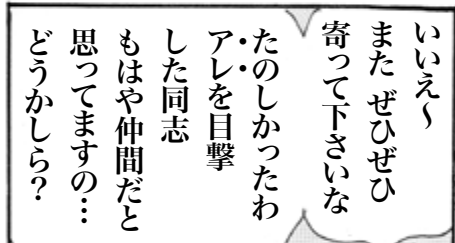
あー
あの遺跡?
原始人の
ヨコ穴?

あれは
つまらないよ
金網があつから
入れねーし
きつたねーの

そうかね...



や...
猫たちには
気の毒な
ことをした



いいえ、
またぜひぜひ
寄つて下さいな
たのしかったわ
アレを目撃
した同志
もはや仲間だと
思つてますの...
どうかしら?



仲間!
良いです
なあ



猫に
やったー?
あら
お味噌のことで
忘れてたわ



ぼくだつて
そーする
墓に
入るなら
死んだ方が
マシだよ



いやく
名言じゃ
名言じゃな

すまあ
すてま
♡

すらすら

まあ…
そんなものなんじゃないな
町おこしと称して
宣伝してるが
行ってみると…



あの少年
小学四年と
いったな

帰のみち
わしを
護衛して
くれたのか？

そして
常日頃
おばあちゃんを
護っている
ようだな

しっかりと
しとる



わしも
いまはやり
今流行りのものにも
耳を傾けねばの



それとも
やはりの
飛翔したいという想いが
見せた まぼろしか？

ひと
それぞれの



人は時に…
集団で幻覚を
見るのがあつと
なにかで読んだが…

地球の
じやあ！
あれ？
モニターに
うつってねえ



おや
カケスカね

オナガより
コロツとして
飛びにく
そうじゃな



一方—
一度も
見たことがなく
足元を
揺るがすほどに
とつともない
ものは
脳にうつりす
見えんとか
きくが…

氷河の
山に吐
みたる
雪…山？
え…山？
雪…山？



あれね…
ここは
先ほど
通った
ところじゃ

ああ、
なにやら
かにやらに
幻惑され
まだ正気に
戻つたらんの
かも知れん…

ここで
少し休んで
ゆくかな



ア。は。ん。だ。は。
ないなあ…

ならば
なんなの
だろう？

いな
なんでだか
よっ君のような気がして
ならんのだが…
やはりの
空ろな脳ミンが
見せたいまじうに
すぎんのか？

いやいや
あの老婦人とじいだけ
なら可能性もあるが…

あの子も
見ておるのだ
たびたび

や...
わからんなあ

ただ 見たものが
三人である
わし ひろひはな...!

ま...も少し
たつてから
考えて
みるかの

それから——

しほひは
秋の長雨が つづいた

また
ふたり
一緒じゃな

カー子の
ランデブウは
終いかね
また
よっ君の
母さんだ

それとも
子育てが
むずかしいと
いうことか

よっ

六日ひりの
晴天!

やっと
晴れました
なあ

あとから
考えてみるとな

正直いうとな

わしは
あの一連の出来事を
白昼夢では
なかったのか、と
思ひつづいておった

いんち
急いでる
とはいえ
あんな所を
登るのは不自然
きわまりない

あの時は
なんの疑問も
もたなかった
が.....
だだっ広い
いにしえの
丘陵に

人を見かけん
かったな...





あの時は
大変ご馳走に
なつた

では
豆大福でも
持っていくか

いやいや もっと
ハイカラなものが
良いな

そやうだ

鼓動が ちと速いな
長らく 平穩な暮らしを
つとめてきたが…



それとも
猫たちに
なまり節でも
ふるまうか
いや、両方じゃな

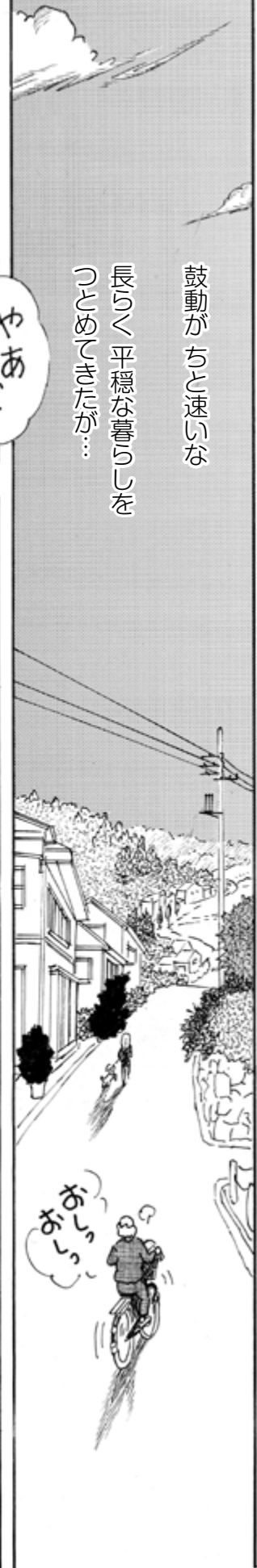
おつよー!

一度っきりの人生

ここいらで
じじいも 少しばっかり
勇ましくあろう
じゃあならんか

えっほ
えっほ

笑うカラスの系譜
後編 おわり



おつよー
おつよー



ああ…
ア、ア、は また出現するの…
恐ろしいが このじじいは
期待もしてゐる

実際のこと
なんだろう

では
後ほど

ともかく
電話で話せたのだから…



どこか 西歐風な
面立ちのふたり
あのくつろぎは
古い映画か はたまた
夢の中の出来事の
ようであった



よっ君の化身に
思えてならんのは
なぜじゃろう

そして—
ア、ア、
まことに
夫がまが
禍々しき姿であったが…